

進路だより

令和6年11月22日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

中学部後期校内実習



9月30日(月)～10月11日(金)までの10日間、後期校内実習が行われました。

前期実習の経験から見通しをもち、時間を意識して行動する姿や友達と協力して作業に取り組む姿が多く見られました。寒暖差が激しく体調管理が大変な中でしたが、「ていねいに・協力して・最後まで」を合言葉に目標達成に向けて頑張りました。働くことの大変さや楽しさを実感できた実習となりました。

家庭班

班目標

- ①お菓子を92個つくる。
- 刺し子製品を21枚つくる。
- ②報告・確認と返事をしっかりする。



- ①お菓子を90個、刺し子製品を23枚つくった。
- ②返事はできたが話をしっかり聞くのは難しかった。

と振り返りました。

刺し子の作業では集中して黙々と作業しました。調理では計量、カットなど技術も上達し、味もワンランクアップ！販売ではマナー、態度に気をつけて取り組みました。

紙工班

班目標

- ①紙を350枚つくる。
- ②みんなと協力して最後まで、まじめに「ていねいに」に取り組む。



- ①紙を340枚つくった。目標は達成できなかったが、安全に作業できた。
- ②つかれた時もあきらめずに作業できた。

と振り返りました。

「お願いします。」「ありがとうございます。」と声をかけ合い協力して紙づくりをしました。

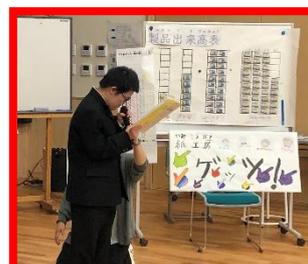
デザインから完成まで丁寧に取り組みました。



結団式 頑張るぞー！



朝礼 ラジオ体操



報告会 班ごとに発表



修了証書をいただきました。

高等部 後期校内・現場実習

10月7日(月)～18日(金)の9日間、高等部の校内・現場実習が行われました。

どんなことを頑張りたいか、どんな力を付けたいかを事前学習でしっかりと考え、それぞれが目標をもって実習に臨みました。

校内実習

1年生は「時間を守るために、すばやく行動する」を目標に5分前行動を意識して取り組みました。校内の他に平田球場での作業もあり、充実した実習になりました。



平田球場 環境整備活動の様子



ウエス作りの様子

現場実習

2年生は前期とは異なる福祉作業所や企業で実習をしました。新しい環境への不安や緊張もあった中、全員がやり遂げました。3年生は、自分の進路実現に向けてそれぞれが目標を達成できるように頑張りました。



かまいしケア・ステーション



石上の園



かまいしワーク・ステーション



まごころ就労支援センター釜石



釜石市福祉作業所



釜石市福祉作業所2nd.



フジ電子工業



津田商店



SMC 株式会社



高等部事業所見学会

9月18日(水)に1年生が、19日(木)に2年生がそれぞれ事業所見学に行きました。企業や福祉事業所で働く様子を見たり、作業を体験させてもらったりしました。また、卒業生が働いている様子も見ることができて、良い刺激になったようでした。卒業後の働く様子を具体的に知ることができ、有意義な時間になりました。今後の自分の進路選択の参考にしてもらえればと思います。

難しい

1年生

部品組み立て



かまいしワーク・ステーション



JAいわて花巻
母ちゃんハウスだあすこ沿岸店

メモを取りながら話を聞きました



わらび学園

2年生

釜石市福祉作業所 2nd.



働くために必要な力について教えていただきました!



お新香は、一日何個
用意しますか?

南部家敷イオン釜石店

最低、100個
作ってます。



釜山クッキーのラベル貼り体験

かまいしワーク・ステーション

就職ガイダンス



良い緊張感

9月9日(月)、高等部の一般就労を希望している生徒を対象とした就職ガイダンスがありました。ランゲート株式会社から派遣いただいた鈴木典子さんが講師として教えてくださいました。本校では、厚労省の高校生就職ガイダンス事業の一環で、就職への動機付けを行い、就職活動に対する理解を深めることを目的に、毎年この時期に開催しています。



笑顔の練習中

て練習しました。思いどおりにならず苦笑いになる場面もありました。

後半は、自己の強み、長所を考えたり、厚労省の職業情報提供サイト「JOBTAG(ジョブタグ)」を活用し、いろいろな仕事を検索する方法も体験したりしました。

今回のガイダンスに参加した高3の佐藤輝さんは、「笑顔に気を付けて実習を頑張りたい」と話していました。

今回使用したテキスト「就職力を高めるワークブック」(厚労省が発行)によると、**高校新卒者の採用で重視することの上位3位は①コミュニケーション能力②協調性③基本的な生活習慣** となっていることを学習しました。

鈴木さんは、第一印象をよくするためには、姿勢や声、笑顔などに磨きをかけることを日々の生活の中で心がけることが大切だとアドバイスしてくださいました。**目尻は下げて、口角は上げると「最高の笑顔」になる**ことを学び、生徒同士で向かい合っ



立つ姿勢——背筋を伸ばして

いわて特別支援学校 就労サポーター制度

特別支援学校の生徒の
社会参加につながる実習、
雇用機会拡大への
ご協力をお願いします。

いわて特別支援学校就労サポーター制度とは？

特別支援学校と企業との連携を強化し、継続的な支援による**長期的な見通しをもった進路指導**や**雇用の機会の拡大**を図ろうとするものです。

特別支援学校高等部に在籍する生徒の**就業体験等の受入れ支援**を行っている**企業を県民に広く周知**するとともに、長期にわたり継続して支援をいただいている企業様には、**知事から感謝状**を贈呈いたします。

釜石地区では、これまで

- ・ 東陵総業(株)
 - ・ 特別養護老人ホーム
らふたあヒルズ
 - ・ 社会福祉法人清風会
 - ・ 医療法人楽山会
 - ・ (有)浦田商店
 - ・ つくし
 - ・ (株)ニッコトラスト
東日本北海道支社
 - ・ (株)エノモト岩手工場
 - ・ SMC(株)釜石工場
- の9社様にご登録いただきました。この度、新しく2社様に加わっていただき、先日登録証をお渡ししてきました。

新規登録企業



(株)津田商店



(有)フジ電子工業

以前発行(R3年度2号)の進路通信の記事です。



質問コーナー

～保護者の皆さんから寄せられた質問にお答えします～

沢山お待ちしております。



高等部卒業後、作業所等へ行っている人で、15:30～16:30ぐらいに送迎で家に帰り、**親がおらず留守番して一人**いるとか、夕方までサービス利用している人はいますか？



夕方までサービス利用している方は、

ここ2年の間では、いらっしゃいません。**個人のケースで相談することが必要になります。**高等部3年生になると、卒業後のことを念頭において**移行支援会議**を行います。そこで、必要なサービスの確認をし、相談支援専門員さんや市役所・事業所に相談していくことになります。

例えば、日中に就労継続支援B型や生活介護を利用している方が、その後、何らかの支援を受けたいということであれば利用は可能と思われます。その場合、日中一時支援、地域活動支援Ⅰ型、Ⅱ型などが考えられます。個々の状況によりどのサービスを利用するかは違ってくると考えられます。サービスの中身も大事ですが、終了時間が問題ではないでしょうか。事業所の終了時間はまちまちで、16:30から18:00までと開きがあるようです(県内の利用を見ると)

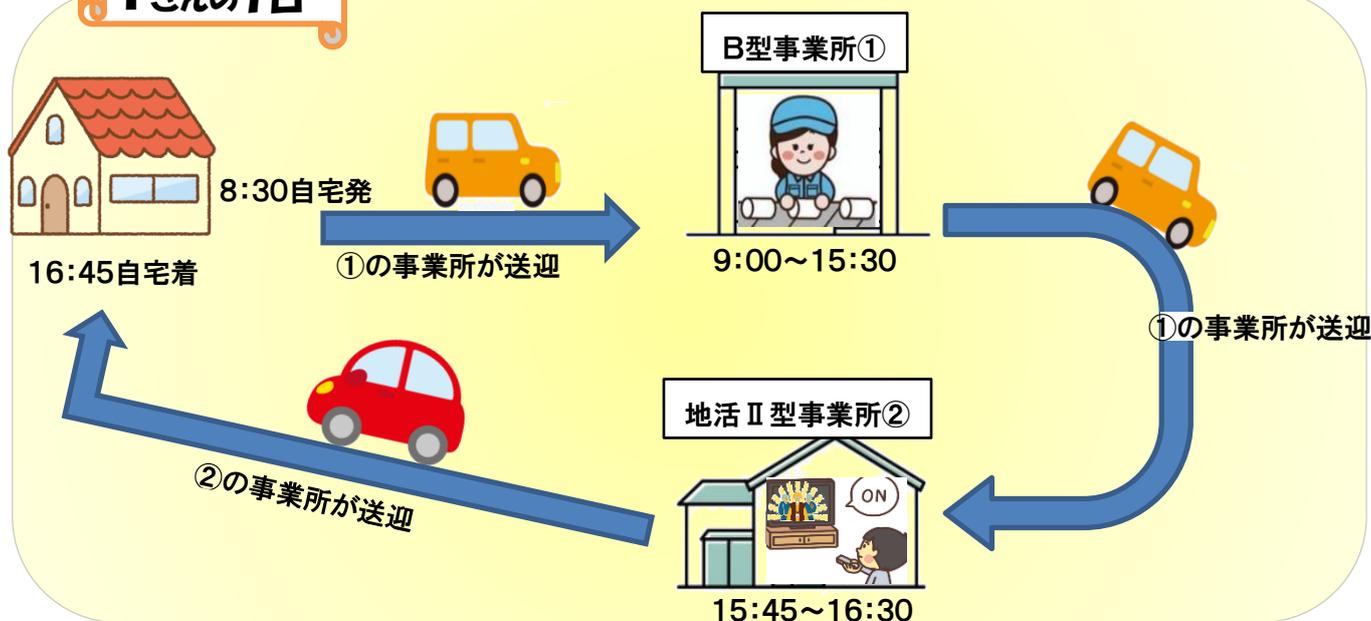
上記のサービス以外であれば、泊を伴うショートステイ(短期入所)もあります。

R5年4月から...

卒業生で、**日中はB型**で働いて、その後**地域活動Ⅱ型**を使わせていただいている方が

いらっしゃいます。(仮にその方をIさんと呼びます。)

Iさんの1日



高等部3年生(R5年)の2月にIさんの2回目の移行支援会議が行われました。その時、『B型事業所で働いた後に使えるサービスはありませんか?』と保護者さんから要望が出されました。その後、関係機関で調整いただき実現しました。特に、上の図で言うところの地活Ⅱ型事業所さんのご努力が大きかったと思います。終了時間は、16:45で限界とのことでした。今いらっしゃる職員で遣り繰りして何とかお応えしていただいたのだと思います。本当に感謝です。